

学校だより

# 豊かっ子



喜多方市立豊川小学校  
令和4年1月24日(月)  
発行者 校長 遠藤 信恵  
第18号

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成  
◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子



## 第3学期がスタートしました ~今年もよろしくお願いたします~

明けましておめでとうございます。雪の多い年末年始で、子ども達は十分に雪遊びができたことと思いますが、おとなは雪かたしで疲れたのではないのでしょうか。

奈良時代に編纂された日本最古の歌集である「万葉集」の最後には、大伴家持が元旦に詠んだ歌が収められています。当時、元

新しき年の初めの初春の今日降る雪のいや重け吉事

日に降る雪は縁起がよいとされていました。縁起のよい雪と同じように、よいことがたくさん降り積もっていく年になりますようにと願いをかけた歌だと言われています。今年寅年です。寅年は「厳しい冬を乗り越えて、新しい成長が始まる年」だそうです。一日も早くコロナが収まり、子ども達が存分に活動できるよい年になることを願うばかりです。



3学期がスタートしました。3学期は49日間という最も短い学期であり、今年度のまとめを行うとともに、令和4年度の「0学期」として、新年度に向けた準備を行うとても大切な学期です。そのため、始業式では、子ども達が目標に向かって努力し、最後までやり遂げて立派に1年間を締めくくれるよう「有終の美」について話をしました。子ども達が「有終の美」を飾れることを期待し、精一杯応援していきたいと思えます。皆様方のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



【第3学期始業式】

## 小正月の伝統行事を楽しむ ~だんごさし~

12日(水)、2年生が生活科で「だんごさし」を行いました。食生活改善推進員の皆様にお手伝いいただきながら、団子の粉をこねて小さく丸め、ゆでて粉をまぶし、みず木にさしました。赤・白・緑の団子が枝いっぱい飾られ、花が咲いたように賑やかな団子の木ができました。できあがった団子の木は、2年生の教室入り口と校長室の入り口に飾りました。雪景色ばかりで花の少ないこの季節、華やかな小正月らしい雰囲気少しでも楽しもうとした先人の知恵は、すばらしいものだ改めて感じます。



【願いを込めて団子をさす】

14日(金)には、食生活改善推進員の方にその団子を使った団子汁を調理していただきました。人参、大根、油揚げの入った団子汁はとておいしくて、子ども達は大喜びでした。

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底について

感染力が強いとされるオミクロン株への置き換わりが急速に進み、喜多方市においても感染が拡大している厳しい状況です。以下の点につきまして、ご家庭のご協力をお願いいたします。

- お子様やご家族、関係者が感染した場合や濃厚接触者、接触者に認定された場合には、休日でも速やかにご連絡ください。(教頭携帯：090-2840-7895)
- お子様やご家族に発熱等、感染が疑われる症状がある場合には、**登校させずに自宅で休養(待機)**させてください。欠席ではなく、出席停止扱いとします。
- 自宅での検温等、健康管理を徹底し、お子様や家族に発熱等の症状がある場合には、**必ず医療機関を受診**してください。



## 第二こども園との交流会 ～こども園・小学校連携事業～



【手作りプレゼントの贈呈】

14日（金）、本校に第二こども園の年長児を招いて、5年生との交流会を行いました。ハンカチ落としやどうぶつバスケットなどグループごとに考えた遊びを、園児をやさしくリードしながら一緒に楽しみました。はじめは緊張気味の5年生達も、遊びが進むと自然と気遣いができるようになり、笑顔で接する姿をたくさん見ることができました。最後は園児と手をつないで校舎を案内し、見送りをして無事に交流会を終えました。

後日、第二こども園の保育参観の機会があり、年長児が5年生との交流会の感想を新聞にまとめて発表する活動を参観しました。「やさしかった。」「声をかけてくれてうれしかった。」等の感想があり、大変うれしく思いました。

園・小交流活動は、小学生にやさしさや思いやりの心を育てるだけでなく、年長児にとっては、小学校入学への不安を取り除き、期待を高める機会になっていることを実感しました。

## 寒さに負けず体力づくり ～なわとびコンテストに挑戦！～

冬期間の朝の体力づくりの活動として、毎年、なわとび運動を行っています。今年度は、福島県教育委員会が県内すべての公立小学校を対象として実施している「web なわとびコンテスト」の個人種目（前跳び、後ろ跳び、二重跳び）に挑戦しています。コンテストに挑戦することで意欲を高め、友達と競い合い応援し合いながら、体力や運動能力の向上を図ることがねらいです。それぞれの種目で各学年の目標回数を超えるとコンテストにエントリーでき、現在4名が18位以内にエントリーしています。なわとびが得意な子どもばかりではありませんが、何度失敗しても自分の目標に向かって努力し続ける姿は立派です。2月16日・17日に実施する校内なわとび記録会でも、今回は全員種目として前跳びと後ろ跳びを行います。子ども達全員が朝のなわとびに取り組み、体力向上とともに達成感を味わいながら成長してほしいと思います。ご家庭でもお子様にお声かけをお願いいたします。



【1年生の計測を6年生がお手伝い】

### 「元気の出る魔法の口ぐせ」より

#### 『どうせ』より『どうせなら』

どうせ、いまさら…。  
どうせ、わたしなんか…。  
どうせ、がんばっても…。



『どうせ』は、やる気をなくすマイナスの言葉です。そのあとには、『できっこない』がきます。



今日から『どうせ』をやめましょう。  
どうせなら、『なら』をつけて、  
『どうせなら』と言ってはどうでしょう。

どうせなら、今からでもやってみよう。  
どうせなら、わたしがやってみよう。  
どうせなら、がんばってみよう。

『どうせなら』のあとには、  
『やってみよう』がにいます。



※「どうせなら、やってみよう！」でよい年にしよう！

### \* 御 礼 \*

子ども会育成会様より、スタンド型非接触温度計を2台、ご寄贈いただきました。会議や保護者会等で来校された方はすでに使用されたかと思えます。コロナ禍の中、大変ありがたく、心より感謝申し上げます。



### 受賞おめでとう！

◇ 福島発のキュウリビズ愛情込めてキュウリ栽培大作戦  
特別賞 豊川小学校4年生

※4年生が理科の授業でキュウリを栽培し、栽培の様子等をまとめた学習の成果が評価されました。

